

2019年（平成31年）

定期代議員会議案書

日時 2019年（平成31年）3月17日(日)午後2時
会場 平塚市 グランドホテル神奈中平塚

神奈川県ソフトテニス連盟

2019年（平成31年）定期代議員会議案書

目 次

平成31年 定期代議員会次第	2
表彰者名簿	3
議案第1号 平成31年度事業計画案	9
<1>事業方針	9
<2>大会日程ならびに会場	11
<3>大会要項（中央大会等県外大会）について	11
<4>平成31年度登録方法と会費について	14
<5>平成31年度登録補助金について	14
議案第2号 平成31年度予算案	15
1. 総収入支出予算額	15
2. 一般会計収支予算書	16
3. 特別会計	19
(1) 国体関係費特別会計収支予算書	19
(2) 競技力向上補助事業費特別会計収支予算書	20
別表	
収入	
1. 登録会費収入の内訳	21
2. 大会参加料収入の内訳	22
3. 補助金収入の内訳	23
支出	
1. 大会参加料の内訳	23
議案第3号 役員改選	24
1. 代議員会が選出する役員（敬称略 順序不同）	24
2. 協会及び加盟団体が選出した理事等	24
3. 会長推薦により選出する役員（理事 若干名）	25
4. 理事会が選出する役員	25
代議員	26

2019年（平成31年）定期代議員会次第

1. 開会のことば 副理事長 米川 和幸
2. 挨拶 会 長 河野 洋平
3. 議長推薦
4. 議長挨拶
5. 議 事 議案第1号 平成31年度事業計画案
 議案第2号 平成31年度予算案
 議案第3号 役員改選
6. 表彰式 (公財)日本ソフトテニス連盟表彰
 支部功労賞 2名
 優良団体賞 1団体
 ランキング 10名(9名)
 神奈川県ソフトテニス連盟表彰
 地域功労賞 5名
 優良団体 1団体
 ランキング第1位 52名
 優秀賞(個人) 157名(127名)
 優秀賞(団体) 7団体
7. 受彰者代表謝辞
8. 閉会のことば

※懇親会

表彰者名簿

(公財) 日本ソフトテニス連盟表彰

- 1 支部功労賞 中村 勝 殿 (元県連代議員)
 福室 祐子 殿 (元県連盟理事)

- 2 優良団体賞 せせらぎクラブ (横浜協会)

- 3 全日本ランキング
男子35 第3位 三木 英治 殿 香川 大輔 殿 (せせらぎクラブ・厚木市役所)
シニア女子65 第3位 市川 富子 殿 (横浜レディース)
シニア男子70 第1位 相浦 誠 殿 (“K” S. T CLUB)
シニア女子70 第2位 秋山千代子 殿 (太陽クラブ)
シニア混合65 第2位 小澤 孝 殿 市川 富子 殿 (金剛寺クラブ・横浜レディース)
シニア混合70 第2位 南雲 睦子 殿 (洋光台クラブ)
中学男子 第3位 菅野晃太郎 殿 工藤陽光也 殿 (横浜市立領家中学校)

神奈川県ソフトテニス連盟表彰

- 1 地域功労賞 式田 雅信 殿 (川崎市協会推薦)
 沼田 恭子 殿 (小田原協会推薦)
 鈴木 正美 殿 (藤沢協会推薦)
 友清 幸介 殿 (県央協会推薦)
 亀山 良徳 殿 (高体連推薦)

- 2 優良団体賞 JONNY ‘S 殿 (県央協会推薦)

3 優秀賞（個人）

（1）ランキング第1位

小学男子	高田 大輝 殿	岩本 拓磨 殿	（南大師ジュニア）
小学女子	秋本 彩葵 殿	枝川 佳乃 殿	（横須賀ドリームスポーツ少年団）
中学男子	菅野晃太郎 殿	工藤陽光也 殿	（横浜市立領家中学校）
中学女子	長谷川日紀 殿	長谷川天紀 殿	（横浜市立領家中学校）
高校男子	井上 拓海 殿	米澤 主真 殿	（東海大学付属相模高等学校）
高校女子	鈴木 優美 殿	森 千夏 殿	（日本大学藤沢高等学校）
大学男子	和泉 輝 殿	木村 卓 殿	（東海大学）
大学女子	古正 唯真 殿	冨田めぐみ 殿	（東海大学）
一般男子	及川 大和 殿	南川 隆 殿	（桜倶楽部・三菱重工相模原）
一般女子	杉脇麻侑子 殿	和田 夏実 殿	（桜倶楽部）
成年男子	米川 健一 殿	薄井 博一 殿	（藤沢市役所・せせらぎクラブ）
シニア男子45	塚原 達也 殿	伊藤宗一郎 殿	（せせらぎクラブ）
シニア女子45	松枝久美子 殿	大野 久美 殿	（あじさいクラブ）
シニア男子50	清水 孝 殿	石崎 勝 殿	（東陵クラブ・厚木市役所）
シニア女子50	田中 道子 殿	西川 淳子 殿	（横浜レディース・むつみクラブ）
シニア男子55	小出 和弘 殿	石上 明伸 殿	（なでしこクラブ・横須賀ソフトテニスクラブ）
シニア女子55	金子 由美 殿	加藤 君子 殿	（横浜スマイル・三菱重工相模原）
シニア男子60	阿部 藤彦 殿	高井 久志 殿	（三菱重工相模原・秦野クラブ）
シニア女子60	松崎 朋子 殿	市川 富子 殿	（湘南クラブ・横浜レディース）
シニア男子65	小澤 孝 殿	阿蘇 秀男 殿	（金剛寺クラブ・なでしこクラブ）
シニア女子65	安藤 泰子 殿	小野寺登代 殿	（横浜シティクラブ・朝比奈クラブ）
シニア男子70	石崎 和義 殿	宝力 良允 殿	（横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会）
（同ポイント2ペア）	西村 泰 殿	高橋 良一 殿	（JFE鉄友会）
シニア女子70	筒井まさ子 殿	南雲 睦子 殿	（フコクテニスクラブ・洋光台クラブ）
シニア男子75	青木 東平 殿	野地 光明 殿	（金剛寺クラブ・日本スポーツマンズクラブ）
シニア女子75	青島 俊枝 殿	斉藤美佐江 殿	（フコクテニスクラブ・さつきクラブ）

（2）神奈川県選手権大会（優勝）

小学校低学年男子	芹澤 千哲 殿	中山 椋太 殿	（大磯ジュニア）
小学校低学年女子	角谷 碧 殿	和田 紗瑛 殿	（座間ジュニア）
小学校高学年男子	高田 大輝 殿	岩本 拓磨 殿	（南大師ジュニア）
小学校高学年女子	原田 虹海 殿	五味 陽日 殿	（大磯ジュニア）
小学生シングルス男子	青木 優 殿		（南大師ジュニア）

小学生シングルス女子	秋本 彩葵 殿	(横須賀ドリムスポーツ少年団)
中学校男子	芹澤 拓実 殿	原田 興介 殿 (大磯町立大磯中学校)
中学校女子	小宮 花音 殿	青木 夏鈴 殿 (伊勢原市立成瀬中学校)
高校男子	井上 拓海 殿	米澤 主真 殿 (東海大学相模高等学校)
高校シングルス男子	工藤眞明也 殿	(横浜創英高等学校)
高校女子	鈴木 優美 殿	森 千夏 殿 (日本大学藤沢高等高校)
高校シングルス女子	川嶋 菜結 殿	(相洋高等学校)
大学男子	和泉 輝 殿	木村 卓 殿 (東海大学)
大学女子	白石 凧沙 殿	野村 彩李 殿 (東海大学)
一般男子	及川 大和 殿	南川 隆 殿 (桜倶楽部・三菱重工相模原)
一般女子	杉脇麻侑子 殿	和田 夏実 殿 (桜倶楽部)
成年男子	米川 健一 殿	薄井 博一 殿 (藤沢市役所・せせらぎクラブ)
シニア男子45	塚原 達也 殿	伊藤宗一郎 殿 (せせらぎクラブ)
シニア女子45	松枝久美子 殿	大野 久美 殿 (あじさいクラブ)
シニア男子50	吉門 卓史 殿	植木 克典 殿 (横浜市役所)
シニア女子50	田中 道子 殿	西川 淳子 殿 (横浜レディース・むつみクラブ)
シニア男子55	小出 和弘 殿	石上 明伸 殿 (なでしこクラブ・横須賀ソフトテニスクラブ)
シニア女子55	金子 由美 殿	加藤 君子 殿 (横浜スマイル・三菱重工相模原)
シニア男子60	阿部 藤彦 殿	高井 久志 殿 (三菱重工相模原・秦野クラブ)
シニア女子60	松崎 朋子 殿	市川 富子 殿 (湘南クラブ・横浜レディース)
シニア男子65	小澤 孝 殿	阿蘇 秀男 殿 (金剛寺クラブ・なでしこクラブ)
シニア女子65	安藤 泰子 殿	小野寺登代 殿 (横浜シティクラブ・朝比奈クラブ)
シニア男子70	石崎 和義 殿	宝力 良允 殿 (横浜市役所・逗子開成軟式庭球部OB会)
シニア女子70	筒井まさ子 殿	南雲 睦子 殿 (フコクテニスクラブ・洋光台クラブ)
シニア男子75	熊沢 哲弘 殿	小池 史朗 殿 (白陵クラブ・金剛寺クラブ)
シニア女子75	青島 俊枝 殿	斉藤美佐江 殿 (フコクテニスクラブ・さつきクラブ)

(4) 関東選手権大会

男子35	優勝	三木 英治 殿	香川 大輔 殿 (せせらぎクラブ・厚木市役所)
	準優勝	座間 慎悟 殿	菊地 一圭 殿 (JOHNNY'S・桜倶楽部)
シニア女子35	第3位	赤澤 千晶 殿	(桜倶楽部)
シニア女子45	準優勝	下村万貴子 殿	(フコクテニスクラブ)
	第3位	田中 道子 殿	(横浜レディース)
シニア男子60	第3位	太田 孝史 殿	丸山 靖則 殿 (北相ソフトテニスクラブ)
シニア女子60	優勝	松崎 朋子 殿	市川 富子 殿 (湘南クラブ・横浜レディース)
シニア男子65	準優勝	小澤 孝 殿	(金剛寺クラブ)
	第3位	友尻 康憲 殿	鈴木 良和 殿 (あしがら21・なでしこクラブ)

シニア男子70 優勝 石崎 和義 殿 宝力 良允 殿 (横浜市役所・逗子開成軟式野球部OB会)
 第3位 相浦 誠 殿 (“K” S. T CLUB)
 シニア男子75 第3位 野地 光明 殿 (日本スポーツマンズクラブ)
 シニア女子75 第3位 黒田 妙子 殿 幾田 靖子 殿 (日の出川クラブ・小槻クラブ)

(5) 第48回関東中学校大会

男子団体 第3位 横浜市立領家中学校
 監督 大島 史子 殿
 選手 工藤陽光也 殿 坂口 矢尋 殿 菅野晃太朗 殿
 飯ヶ谷 拓 殿 伊能 凧一 殿 丸谷 瑛人 殿
 佐藤 暖太 殿 平木 弘毅 殿

(6) 関東高校選手権大会

女子団体3位 相洋高等学校
 監督 帆足 仰 殿
 選手 今井 菜摘 殿 平本 茜里 殿 川嶋 菜結 殿
 伊東 未来 殿 藤田 愛美 殿 大木 萌香 殿
 五味 風花 殿 赤城 里桜 殿

(7) 関東高校選抜ソフトテニス大会

男子団体第3位 横浜創英高等学校
 監督 松口 良也 殿
 選手 澤田 浩輔 殿 工藤眞明也 殿 大畑 暁仁 殿
 神崎 礁吾 殿 師 駿介 殿 百木 大貴 殿
 松尾 和波 殿 金子 海都 殿

(8) 関東家庭婦人大大会

女子45 準優勝 小野 暁子 殿 門倉久美子 殿 (あじさいクラブ)
 第3位 下村万貴子 殿 (フコクテニスクラブ)
 シニア女子50 準優勝 斉藤 由美 殿 森 亜紀子 殿 (あじさいクラブ・横浜レディース)
 シニア女子55 第3位 金子 由美 殿 加藤 君子 殿 (横浜スマイル・三菱重工相模原)
 シニア女子60 第3位 花上智代子 殿 大熊扶左恵 殿 (厚木テニスクラブ・戸塚会)
 シニア女子75 第3位 清水 幸代 殿 中根 京子 殿 (フコクテニスクラブ・横浜シテイクラブ)

(9) 関東教員大会

教員 一般女子

第3位 志村 晴美 殿 原 彩子 殿 (西原中学校・星槎国際高等学校)

(10) 東日本選手権大会

シニア女子45 準優勝 下村万貴子 殿 (フコクテニスクラブ)

シニア男子60 第3位 阿部 藤彦 殿 高井 久志 殿 (三菱重工相模原・秦野クラブ)

シニア男子65 優勝 木本 正之 殿 (湘南クラブ)

準優勝 中村 弘志 殿 (湘南クラブ)

第3位 小澤 孝 殿 (金剛寺クラブ)

シニア女子70 優勝 秋山千代子 殿 (太陽クラブ)

シニア男子75 第3位 野地 光明 殿 (日本スポーツマンズクラブ)

シニア女子75 第3位 幾田 靖子 殿 (小槻クラブ)

シニア男子80 準優勝 栗田 舜二 殿 荻窪 武晴 殿 (金剛寺クラブ・あしがら21)

(11) 第13回ジュニアジャパンカップ

U14男子ダブルス 第3位 鈴木 郁哉 殿 (平塚市立大住中学校)

(12) 第29回都道府県対抗全日本中学生大会

男子ダブルス 準優勝 菅野晃太郎 殿 工藤陽光也 殿 (横浜市立領家中学校)

女子シングルス 第3位 長谷川 日紀 殿 (横浜市立領家中学校)

(13) 第47回全国中学校大会

男子ダブルス 第3位 菅野晃太郎 殿 工藤陽光也 殿 (横浜市立領家中学校)

(14) 全国高等学校定時制通信制大会

男子団体 優勝 県立横浜修悠館高等学校横須賀

監督 山田 洵 殿

選手 谷口 楓馬 殿 河合 優樹 殿 大木 翔太 殿

竹内 圭 殿 木原 隼平 殿 奥田 裕己 殿

星野 裕登 殿 新川 志穂 殿

(15) 全日本レディース個人戦大会

はぎブロック 優勝 市川 富子 殿 (横浜レディース)
(65歳以上)
さつきブロック 第3位 田中 町子 殿 石井 順子 殿 (綾瀬テニスクラブ・朝比奈クラブ)
(70歳以上)
ももブロック 第3位 湯原 露江 殿 安田 淳子 殿 (港北軟庭会・横浜健康福祉クラブ)
(80歳以上)

(16) 全日本社会人選手権大会

男子35 第3位 三木 英治 殿 香川 大輔 殿 (せせらぎクラブ・厚木市役所)

(17) 全日本シニア選手権大会

シニア女子65 第3位 市川 富子 殿 (横浜レディース)
シニア男子70 優勝 相浦 誠 殿 (“K” S. T C L U B)
シニア女子70 準優勝 秋山千代子 殿 (太陽クラブ)
混合65 準優勝 小澤 孝 殿 市川 富子 殿 (金剛寺クラブ・横浜レディース)
混合70 準優勝 南雲 睦子 殿 (洋光台クラブ)

4 優秀賞 (団体)

関東高校選手権大会	女子 第3位	相洋高等学校 殿
関東高校選抜大会	男子 第3位	横浜創英高等学校 殿
関東実業団リーグ	男子 第3位	厚木市役所 殿
第48回関東中学校大会	男子 第3位	横浜市立領家中学校
全国高等学校定時制通信制大会	男子 優勝	県立横浜修悠館高等学校横須賀 殿
全日本クラブ選手権大会	男子 第3位	せせらぎクラブB 殿
	女子 準優勝	桜倶楽部A 殿

議案第1号 2019年度（平成31年度）事業計画案

<1> 事業方針

1. 競技者育成プログラムの推進

(1)一貫指導システムを構築し、ジュニア強化・競技力向上を図る。

2. IT化の推進

(1)IT 会員登録システムの活用により、事務処理の効率化と登録料納付の向上を図る。

(2)会員登録システムに連動し審判、技術等級の認定管理を行う。

(3)IT システムを活用して、審判、技術等級の資格チェックと大会申込手続きの効率化を図る。

3. 日本連盟主催各種研修会（1級審判員、小・中・高指導者等）への派遣を行う。

4. 競技性の向上

(1)ゼッケンの着用

県内大会での一般、成年、シニアの種別においてもゼッケン着用と審判資格ワッペンを持参し、審判の際は胸に着用し、審判員の意識向上を図る。

高体連及び中体連は、関東、全国大会等の中央大会の神奈川県代表選手については、28年度より指定のゼッケンの着用を義務付けている。

〔白の台布にゴシック体（太文字）で、上段に都道府県名又は所属連盟名、中段に名前、下段に所属名（企業名・クラブ名・学校名）〕

5. 協会、学連、高体連、レディース連盟間の交流促進

(1)生涯スポーツとして愛着を持てるよう各連盟間の交流を図り、潜在する競技人口の維持・拡大に努める。また、交流を通じて競技力の向上を図る。

6. 県内普及事業の実施

(1)小学生養成、初心者指導・スポーツ教室・指導者講習会の開催及び助成

・「ソフトテニスルールとマッチの進め方」の冊子を活用（小学生の低学年対象）することにより、小学生の競技に対する理解を深める。

(2)公認審判員資格講習会の開催ならびに審判員の指導育成

(3)ジュニア審判普及の促進（小学生と中学生を対象）

・小学生低学年用ジュニア審判マニュアル（日本連盟）を活用し、ルール及び審判制度の理解を深める。

(4)マスターレフェリーおよびマスターアンパイヤーの認定（50歳以上）

(5)公認指導員制度の資格取得促進と指導者バンクの活用

・審判講習会事前受付、認定証交付等の事務改善により会員の利便性の向上を図る。

・公認スポーツ指導員、公認ソフトテニスコーチ等の活用並びに、新たな指導者の資格取得を支援し、指導体制の充実を図る。

・指導教本（DVD付き）を基にして、公認スポーツ指導者資格取得・更新のための指導者講習会を行ない、一貫指導に向けた体制作りの強化を図る。

・中学及び高校等でソフトテニス未経験の顧問や指導者を対象とした講習会を行なう。

・日本連盟主催の全国小学生・中学生・高校生指導者研修会に本県から指導者を派遣する。

(6) 技術等級・指導員資格認定

①技術等級の認定（大会実績、検定会）②名誉指導員の認定

- ・技術等級制度の周知・徹底を図り、多くの会員に取得させるよう努める。特に検定会による取得の促進を図る。

(7) 地域グループ・ジュニア育成

- ・地域グループ・ジュニアの充実を図ることを目的として、地域協会・高体連・中体連に対し、会員登録料から助成する。

(8) ソフトテニス愛好者増加対策の推進

- ・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレイできる環境を提供する。またレディースを含めた社会人を対象として愛好者増加対策事業を実施する地域協会等を支援する。
- ・2015年に上映した「案山子とラケット」のDVD及びBDの紹介、及び非劇場（体育館、公民館等）で上映し愛好者の増加を図る。補助金の活用（上映費の半分を負担：125,000円、150,000円）

(9) ソフトテニス週間の実施

- ・ソフトテニス週間が、10月の体育の日（月）を中心とした1週間であることを啓発し、県内の愛好者が、特に期間中はソフトテニスを楽しむ風土を醸成する。
- ・10月13日（日）平塚市立軟式庭球場において「第3回スポーツひのまるキッズ神奈川県親子大会」を開催する。

7. ソフトテニスを通じた青少年の健全育成

(1) ソフトテニスを通じて自己責任及びフェアプレイの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図る。

- ・環境宣言『来た時よりも美しく』フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』の横断幕を連盟主催大会での掲示やプログラム掲載を行うことにより、環境とマナーの向上を図る。

(2) 大会や強化事業を実施する際にごみの分別、持ち帰り等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも平等しく地球人として環境保全を推進するための物を大切にする生活習慣を徹底する。

- ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議への積極的参加

(3) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレイの精神などを身につけると共に、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組むと共にソフトテニスで誰にでも誇れる格調高い競技を目指す。

* 試合終了後の握手の励行を徹底推進する。

* ワッペン着用、審判をする際の姿勢・態度等、審判のマナーの向上を図る。

* 「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動の継続推進。

- ・マナーキッズプロジェクト（NPO）と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、＜体・徳・知＞バランスのよい子供を育てる。

- ・「ソフトテニスマナーBOOK」をPRしていく。
- ・マナーチェックシートを活用し、実態調査と指導を継続して行なう。
- ・暴力の根絶の徹底を図る。

8. 強化事業の実施

(1) 県内強化事業

- ・国体総合優勝と中央大会上位入賞を目指しての強化合宿・練習会の実施。
- ・競技力向上ジュニア対策強化育成練習（step1・2）ならびに関東中学校研修大会等の実施。

(2) 県外強化事業

- ・中央大会、近都県大会（関東オープン・川口市対抗・富士宮インドア）、競技者育成プログラム（step3・4）へ積極的に選手団を派遣する。

9. 競技団体のあり方・事業運営の調査、研究の実施

- (1) 組織、人口、登録方法の調査の実施。
- (2) 既存大会の整備、実施方法について検討。

10. 広報活動の促進

- (1) 大会記録集の作成と一般広報活動の充実を図る。
- (2) 機関誌「ソフトテニス」の定期購読を促進する。
- (3) ホームページの充実
 - ・日本連盟ホームページの周知・活用を図る。
 - ・リニューアルした県連盟ホームページにより、大会結果速報の掲載や県大会申込システムの活用により利便性を図る。
- (4) 日本ソフトテニス連盟 TV の支局である神奈川連盟 TV の積極的な活用
 - ・神奈川連盟 TV を積極的に活用し、小・中・高・社会人各層のソフトテニス活動の映像配信を行う。

<2> 大会日程ならびに会場

別紙、「2019年度（平成31年度）神奈川県ソフトテニス連盟大会日程表」のとおり

本年度から県連盟主催大会の申込受付は、日本連盟の支部大会申込システムを活用して行う。

原則、インターネット申込とするが、2019年度（平成31年度）に限り移行期間として県連盟での代行入力を受け付ける。

<3> 大会要項（中央大会等県外大会）について

※中央大会等県外大会へ出場する場合は、ゼッケンは四隅を止めて、必ず着用すること。

大きさ……B5版（タテ18.2cm、ヨコ25.7cm）

表示方法……団体戦・個人戦共、黒文字ゴシック体太文字上段(1/4) 県名、中段(2/4) 名前、下段(1/4) 所属名の3段式

1. 世界選手権大会代表選手予選会（5月5日(日)・6日(月) 三重県四日市市)

- ・県予選会を行わず、フリー出場とする。ただし、平成30年度の中央大会での実績に基づ

く資格及び技術等級E X資格がある者に限る。

2. 関東選手権大会（5月25日(土)・26日(日) 千葉県白子町)
 - ・ 県予選会を実施する。(各種別共、予選会を行い県代表を決定するが、申込数が出場枠に満たない場合予選会は行わない。)
 - ・ 前年度大会の成績8本以内は、関東連盟からの推薦により出場できる。(但し同一ペアに限る。)
(予選会による県代表選出ペア数) …… 一般男女は24ペア、成年男女・シニア45男女・シニア50男女・シニア55男女・シニア60男女・シニア65男女・シニア70男女・シニア75男女・シニア80男女は12ペア
 - ・ 中央大会参加料は県連負担
 - ・ 中央大会参加資格… 一般は技術等級2級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・ 参加申し込みが8ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
3. 東日本選手権大会（7月20日(土)・21日(日) 静岡県静岡市・浜松市)
 - ・ 全種別共フリー出場とし、県予選会を実施しない。
 - ・ 中央大会参加資格… 一般は技術等級2級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・ 種別は関東大会と同じ。
 - ・ 参加申し込みが7ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
但し、シニア80は3ペア以上で実施する。
4. 全日本社会人選手権大会（9月14日(土)・15日(日) 山形県天童市・酒田市)
 - ・ 県予選会を実施する。
(県代表選出ペア数) …一般男女=20ペア、社会人35男女=12ペア、社会人45男女=フリー出場(県予選会を行わない)1人1種別。
 - ・ 中央大会参加資格… 一般は技術等級2級以上・審判資格、成年は審判資格
5. 全日本シニア選手権大会（9月13日(金)～15日(日) 京都府福知山市)
 - ・ 種別… 50男女・55男女・60男女・65男女・70男女・75男女・80男女・混50・混55・混60・混65・混70
 - ・ 全種別共フリー出場(県予選会を行わない)1人1種別。ただし、混合ダブルスは重複参加可能
 - ・ 中央大会参加資格… 審判資格
 - ・ 参加申し込みが8ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
6. 全日本選手権大会（10月18日(金)～20日(日) 岩手県北上市)
 - ・ 男子、女子共県予選会を実施する。ただし、本部推薦ペアを除く。
(県代表選出ペア数) …両種別共4ペア
 - ・ 中央大会参加資格… 技術等級SP以上。
7. 全日本実業団選手権大会（7月26日(金)～28日(日) 鹿児島県鹿児島市)
 - ・ 男子、女子共県予選会を実施する。
(県代表選出チーム数) …… 男子4チーム、女子4チーム
8. 全日本クラブ選手権大会（10月26日(土)・27日(日) 千葉県白子町)

- ・団体戦……県予選会を行わずフリー出場とする。
- 9. 全日本レディース決勝大会団体戦（8月27日（水）～29日（金）愛知県一宮市）
 - ・全種別県予選会を実施する。ただし、はぎ、あじさい、さくら、ふじの4種別は県大会のみ。
（県代表選出ペア数）……すみれ1ペア、ばら1ペア、ゆり1ペア、きく1ペア、あやめ1ペアで1チーム
- 10. 国民体育大会（9月29日（日）～10月2日（水）茨城県北茨城市）
 - ・全種別共予選会・選考会を実施（第1次予選会以降は選考会により県代表選手を決定・県連盟推薦も併用）
- 11. 関東小学生選手権大会（7月6日（土）・7日（日）埼玉県熊谷市）
 - 全日本小学生選手権大会（7月25日（木）～28日（日）栃木県那須塩原市）
 - 全国小学生大会（2020年3月29日（日）～31日（火）千葉県白子町）
 - ・関東・全日本は県予選会を実施する。選出ペア数……関東は高学年男女各8ペア、低学年男女各8ペア、全日本は男女各4ペア（全国小学生大会はダブルス①5年生の部②4年生以下の部男女各4ペア以内、シングルス6年生の部男女各2名以内）
- 12. 関東実業団リーグ（7月6日（土）千葉県白子町）
 - ・県予選会を行わず、フリー出場とする。
 - ・ダブルス2ペア、シングルス1名の対抗戦とし、チームの編成は監督1名、選手8名以内とする。
 - ・5チームのリーグ戦で同レベル同士が対戦する部制となっている。
- 13. 国民体育大会関東ブロック大会（8月17日（土）～18日（日）千葉県千葉市）
 - ・種別（ブロック選出数）…成年男子(8/8)、成年女子(4/8)、少年男子(4/8)、少年女子(2/8)
- 14. 関東家庭婦人大会（9月25日（水）・26日（木）埼玉県熊谷市）
 - 9月25日（水）シニア55・60・70・75
 - 9月26日（木）一般、35・45・シニア50・65
 - ・全種別共予選会を実施する。
- 15. 関東中学校選手権大会
 - （8月6日（火）～8日（木）川崎市・富士見公園テニスコート・等々力公園テニスコート）
 - ・男女個人戦 各都県男女8ペア（主催県：神奈川県は16ペア）
 - ・男女び団体戦 各都県男女4チーム（主催県：神奈川県は8チーム）
- 16. 日本スポーツマスターズ2019（9月21日（土）～22日（日）岐阜県）
 - 種別…35男女、45男女、混合（35女・45男）
 - ・全種別共予選会を実施する。
- 17. 静岡県・神奈川県対抗大会（9月8日（日）沼津市・愛鷹コート）
 - ・全種別共予選会を行わず、国体代表選手を優先し県連盟が推薦する。
- 18. 第32回ねりんピック2019（11月9日（土）～11日（月）和歌山県）
 - ・地域を考慮して県連盟が代表チームを推薦する。（小田原ソフトテニス協会を県代表チームとして推薦）
 - （横浜市、川崎市、相模原市は政令市チームとして別に参加）
- 19. 関東シングルス選手権大会（2020年3月1日（日）群馬県前橋市）

- 種別…シングルス男子・女子 選出数 一般男女各4名、高体連男女各2名
 ・全種別共予選会または選考会を実施し代表者を推薦する。

<4> 2019年度（平成31年度）登録方法と会費について

- 登録方法は、各団体から直接（公財）日本ソフトテニス連盟のホームページにある会員登録システムを活用して県連盟と日本連盟へ登録することとする。ただし、大学は、学連経由とし、レディースは一括登録とする。
- 登録会費は次のとおりとする。

区 分			金 額（年額）
団体登録	社会人団体	県連盟	15,000円（1団体）
	学 連	〃	3,000円（1校）
	高 体 連	〃	6,000円（1校）
	中 体 連	〃	2,000円（男女別1校）
	レ デ ィ ー ス	〃	50,000円（一括）
会員登録	社 会 人	日本連盟	1,000円（1名）
		県連盟	1,000円（1名）
	学 連	日本連盟	※日本学連経由で登録 500円（1名）
		県連盟	500円（1名）
	高 体 連	日本連盟	500円（1名）
	中 体 連	日本連盟	500円（1名）
	小 学 生	日本連盟	500円（1名）
	指 導 者	日本連盟	1,000円（1名）

<5> 2019年度（平成31年度）登録補助金について

団体名		
地 域 協 会	1団体（県連盟分）	4,000円
	会員登録1名（日本連盟分）	200円
	〃（県連盟分）	100円
学 連	1校（県連盟分）	2,000円
高 体 連	1校（県連盟分）	4,000円
	1名（日本連盟分）	50円
中 体 連	1校（県連盟分）	1,900円
	1名（日本連盟分）	100円
レ デ ィ ー ス	一括	30,000円

※団体からの登録に対する補助金は、4.管理費、4.運営費補助として、個人からの日本連盟と県連盟への登録に対する補助金は、1.事業費、3.指導普及費、1.指導者、地域、ジュニア育成費で還元する。

議案第 2 号 2019 年度予算案

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

1. 総収入支出予算額

項 目	収 入		支 出	
	31 年度予算額 <small>円</small>	30 年度予算額 <small>円</small>	31 年度予算額 <small>円</small>	30 年度予算額 <small>円</small>
一 般 会 計	39,600,000	41,070,000	39,600,000	41,070,000
特 別 会 計	5,630,000	7,130,000	5,630,000	7,130,000
合 計	45,230,000	48,200,000	45,230,000	48,200,000

特別会計の内訳

項 目	収 入		支 出	
	31 年度予算額 <small>円</small>	30 年度予算額 <small>円</small>	31 年度予算額 <small>円</small>	30 年度予算額 <small>円</small>
国 体 関 係 費	3,160,000	4,610,000	3,160,000	4,610,000
競技力向上補助事業費	2,470,000	2,520,000	2,470,000	2,520,000
合 計	5,630,000	7,130,000	5,630,000	7,130,000

特 別 基 金

平成 31 年 3 月 17 日現在在 高 800,000 円

2. 一般会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

款	項	目	31年度予算額	30年度予算額	差引額	説明
1.		登録会費収入	17,448,000	17,768,000	△320,000	別紙参照 (21 ページ)
	1.	団体登録料	3,483,000	3,483,000	0	
		1. 社会団体	1,350,000	1,350,000	0	
		2. 学連	33,000	33,000	0	
		3. 高体連	780,000	780,000	0	
		4. 中体連	1,270,000	1,270,000	0	
		5. レディース連盟	50,000	50,000	0	
	2.	会員登録料	13,965,000	14,285,000	△320,000	
		1. 日本連盟	12,845,000	13,155,000	△310,000	
		2. 県連盟	1,120,000	1,130,000	△10,000	
2.		事業収入	16,401,000	17,098,000	△697,000	
	1.	大会参加料	6,501,000	6,658,000	△157,000	別紙参照 (22 ページ)
	2.	審判関係収入	9,700,000	9,800,000	△100,000	
		1. 講習会参加料	200,000	200,000	0	
		2. 認定料	8,500,000	8,700,000	△200,000	
		3. ハンドブック収入	1,000,000	900,000	100,000	
	3.	技術等級関係収入	200,000	160,000	40,000	
		1. 認定料	200,000	160,000	40,000	
		指導者講習会参加料	0	480,000	△480,000	
3.		賛助会費収入	850,000	850,000	0	
	1.	賛助会費収入	850,000	850,000	0	
4.		補助金収入	3,601,000	3,704,000	△103,000	別紙参照 (23 ページ)
	1.	日本連盟	3,461,000	3,634,000	△173,000	
	2.	大会実行委員会	40,000	40,000	0	
	3.	関東ソフトテニス連盟	100,000	30,000	70,000	
5.		雑収入	800,000	650,000	150,000	
	1.	雑収入	800,000	650,000	150,000	ひのまるキッズ親子大会支援金、広告料、代議員会懇親会費等
6.		繰越金	500,000	500,000	0	
	1.	繰越金	500,000	500,000	0	前年度繰越金
		特別基金取崩収入	0	500,000	△500,000	
		特別基金取崩収入	0	500,000	△500,000	
		合計	39,600,000	41,070,000	△1,470,000	

(支出の部)

単位：円

款 項	目	31年度予算額	30年度予算額	差 引 額	説 明
1.	事業費	19,989,000	21,106,000	△1,117,000	
1.	大会関係費	2,200,000	2,300,000	△100,000	
	1. 社会人大会	900,000	1,000,000	△100,000	
	2. シニアフェスタ	140,000	140,000	0	
	3. 全日本レディース大会予選	70,000	70,000	0	
	4. 中学選手権・高校国体予選	550,000	650,000	△100,000	※日本連盟補助 中学選手権大会 30,000
	5. 全日本小学生大会予選会	90,000	90,000	0	※日本連盟補助 小学生選手権大会 30,000
	6. 親子大会	250,000	250,000	0	
	7. 関東中学選手権大会	200,000	0	200,000	大会運営補助金
	関東教員選手権大会	0	100,000	△100,000	
2.	大会参加料	2,779,000	2,756,000	23,000	
	1. 大会参加料	2,779,000	2,756,000	23,000	別紙参照 (23 ページ)
3.	指導普及費	3,800,000	4,430,000	△630,000	
	1. 指導者、地域、ジュニア育成費	2,900,000	3,380,000	△480,000	※日本連盟補助 愛好者増加対策 150,000 地域・ジュニア育成 2,339,000 指導者研修会旅費 31,000
	2. 小学生・中学生全国大会派遣費	500,000	650,000	△150,000	※日本連盟補助 全日本小学生交通費 53,000 ※伊勢実行委員会補助 都道府県中学生大会 20,000 ※白子実行委員会補助 全国小学生大会 20,000
	3. ソフトテニス週間関係費	150,000	150,000	0	※日本連盟補助 100,000
	4. その他指導普及費	250,000	250,000	0	※日本連盟補助 日本スポーツマスターズ 150,000
4.	競技力向上費	2,170,000	2,740,000	△570,000	
	1. 選手強化費	650,000	600,000	50,000	選手強化費 ※日本連盟補助 競技者育成推進費 400,000
	2. 国体関係費 特別会計繰出金	800,000	1,620,000	△820,000	特別会計繰出金 (19 ページ)
	3. 競技力向上補助事業費 特別会計繰出金	720,000	520,000	200,000	特別会計繰出金 (20 ページ)
5.	審判関係費	6,940,000	6,830,000	110,000	
	1. 審判講習会関係費	160,000	160,000	0	
	2. 認定料	5,900,000	5,900,000	0	
	3. ハンドブック代	800,000	720,000	80,000	
	4. その他審判関係費	80,000	50,000	30,000	

単位：円

款	項	目	31年度予算額	30年度予算額	差引額	説明	
6.	技術等級関係費		130,000	100,000	30,000		
	1.	認定料	110,000	80,000	30,000		
		その他技術等級関係費	20,000	20,000	0		
	7.	広報活動費		750,000	750,000	0	
		1.	大会記録集作成費	150,000	150,000	0	
		2.	広報活動費	600,000	600,000	0	
	8.	表彰費		1,220,000	1,200,000	20,000	
		1.	代議員会表彰費	320,000	300,000	20,000	
2.		主催大会表彰費	900,000	900,000	0		
2.	加盟費		385,000	385,000	0		
	1.	日本連盟	150,000	150,000	0		
	2.	東日本連盟	30,000	30,000	0		
	3.	関東連盟	70,000	70,000	0		
	4.	県体育協会	135,000	135,000	0		
3.	会員登録関係費		12,875,000	13,185,000	△310,000		
	1.	日本連盟登録料	12,845,000	13,155,000	△310,000	社会人@1,000×1,030名 高校生@500×3,170名 中学生@500×18,700名 小学生@500×430名 指導者@1,000×665名	
		2.	会員登録事務費	30,000	30,000	0	
4.	管理費		6,045,000	6,130,500	△85,500		
	1.	事務局費	1,200,000	1,200,000	0		
		会議費		850,000	850,000	0	
		1.	代議員会費	450,000	450,000	0	
		2.	理事会費	250,000	250,000	0	
		3.	その他会議費	150,000	150,000	0	
	3.	一般管理費		1,830,000	1,920,000	△90,000	
		1.	備消耗品費	90,000	100,000	△10,000	
		2.	印刷費	750,000	750,000	0	
		3.	通信運搬費	400,000	420,000	△20,000	
		4.	旅費	180,000	200,000	△20,000	
		5.	雑費	410,000	450,000	△40,000	
	4.	運営費補助		2,165,000	2,160,500	4,500	
		1.	地域協会	364,000	356,000	8,000	@4,000×91団体
		2.	学連	34,000	32,000	2,000	@2,000×12校+10,000
3.		高体連	540,000	536,000	4,000	@4,000×135校	
4.		中体連	1,197,000	1,206,500	△9,500	@1,900×630校	
5.		レディース連盟	30,000	30,000	0	一括	
5.	予備費		306,000	263,500	42,500		
	1.	予備費	306,000	263,500	42,500		
合 計			39,600,000	41,070,000	△1,470,000		

3. 特別会計

(1) 国体関係費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	31年度予算額	30年度予算額	差 引 額	説 明
1 繰越金	200,000	200,000	0	前年度繰越金
2 国体派遣費	1,200,000	1,800,000	△600,000	県国体派遣補助
3 補助金	160,000	150,000	10,000	県体協一般健康診断費補助金
4 国体協力金	127,000	167,000	△40,000	国体予選会参加者
5 負担金	650,000	650,000	0	役員・選手負担金・健康診断選手
6 雑収入	23,000	23,000	0	寄付金等
7 一般会計繰入金	800,000	1,620,000	△820,000	一般会計繰入金
合 計	3,160,000	4,610,000	△1,450,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	31年度予算額	30年度予算額	差 引 額	説 明
1 旅 費	60,000	70,000	△10,000	連絡旅費
2 通信運搬費	20,000	40,000	△20,000	郵便料
3 会議費	40,000	40,000	0	打ち合わせ等会議費
4 印刷費	10,000	10,000	0	強化、結果報告等印刷費
5 大会参加料	50,000	50,000	0	ブロック・中央大会参加料
6 強化費	600,000	600,000	0	選手強化関係費
7 派遣費	2,100,000	3,500,000	△1,400,000	中央大会派遣関係費
8 雑 費	50,000	50,000	0	ユニホーム代等
9 健康診断費	230,000	250,000	△20,000	一般健康診断経費
合 計	3,160,000	4,610,000	△1,450,000	

(2) 競技力向上補助事業費特別会計収支予算書

(収入の部)

単位：円

科 目	31年度予算額	30年度予算額	差 引 額	説 明
1 県体育協会補助金	1,500,000	1,700,000	△200,000	選手強化、ジュニア強化補助金
2 一般会計繰入金	720,000	520,000	200,000	競技団体負担金
3 参加者負担金	250,000	300,000	△50,000	役員、選手参加負担金
合 計	2,470,000	2,520,000	△50,000	

(支出の部)

単位：円

科 目	31年度予算額	30年度予算額	差 引 額	説 明
1 謝 金	500,000	550,000	△50,000	指導者謝金
2 旅 費	550,000	550,000	0	指導者、選手宿泊費、交通費
3 需 用 費	600,000	600,000	0	消耗品（ボール等）、印刷費
4 通 信 運 搬 費	20,000	20,000	0	切手代
5 保 険 料	200,000	200,000	0	傷害保険料
6 使用料・賃借料	300,000	300,000	0	コート使用料
小 計	2,170,000	2,220,000	△50,000	(補助対象経費)
7 そ の 他	300,000	300,000	0	(補助対象外経費) 昼食、飲物代等
合 計	2,470,000	2,520,000	△50,000	

別 表	2019 年度予算案
-----	------------

収 入

1. 登録会費収入（17,448,000 円）の内訳

科 目	31 年度予算		30 年度予算		備 考
	数	金 額	数	金 額	
社会団体登録料	90	1,350,000	90	1,350,000	@ 15,000 円
大学団体登録料	11	33,000	11	33,000	@ 3,000 円
高体連団体登録料	130	780,000	130	780,000	@ 6,000 円
中体連団体登録料	635	1,270,000	635	1,270,000	@ 2,000 円
レディース団体登録料	年額	50,000	年額	50,000	一括
団体登録料計		3,483,000		3,483,000	
会員登録料 (社会人団体 日本連盟)	1,030	1,030,000	1,040	1,040,000	@ 1,000 円
〃 (社会人団体 県連盟)	1,030	1,030,000	1,040	1,040,000	@ 1,000 円
〃 (学 連 県連盟)	180	90,000	180	90,000	@ 500 円
〃 (高体連 日本連盟)	3,170	1,585,000	3,120	1,560,000	@ 500 円
〃 (中学生 日本連盟)	18,700	9,350,000	19,400	9,700,000	@ 500 円
〃 (小学生 日本連盟)	430	215,000	450	225,000	@ 500 円
〃 (指導者 日本連盟)	665	665,000	630	630,000	@ 1,000 円
会員登録料計		13,965,000		14,285,000	
合 計		17,448,000		17,768,000	

2. 大会参加料収入（6,501,000 円）の内訳

大会名		31年度予算			30年度予算		
		参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
1	関東オープン大会	31	4,000 円	124,000 円	31	4,000 円	124,000 円
2	シングルス・ミックス大会	40	3,000	120,000	40	3,000	120,000
3	春季男女大会	240	3,000	720,000	240	3,000	720,000
4	秋季男女大会	160	3,000	480,000	190	3,000	570,000
5	夏季チーム対抗大会	15	7,000	105,000	24	7,000	168,000
6	勝抜チーム対抗大会	8	6,000	48,000	8	6,000	48,000
7	県一般選手権大会	200	3,000	600,000	210	3,000	630,000
8	関東大会県予選会	210	4,000	840,000	200	4,000	800,000
9	東日本選手権大会	95	5,000	475,000	80	5,000	400,000
10	社会人大会県予選会	80	4,000	320,000	80	4,000	320,000
11	全日本大会県予選会	45	4,000	180,000	55	4,000	220,000
12	実業団大会県予選会	10	15,000	150,000	10	15,000	150,000
13	中学校選手権大会	296	1,000	296,000	296	1,000	296,000
14	国体少年男女県予選会	170	500	85,000	170	500	85,000
15	国体成年男女県予選会	30	2,000	60,000	40	2,000	80,000
16	関東家庭婦人県予選会	60	4,000	240,000	70	4,000	280,000
17	中学校団体対抗大会	64	3,000	192,000	64	3,000	192,000
18	関東実業団リーグ	9	21,000	189,000	9	21,000	189,000
19	全日本クラブ選手権大会	23	16,000	368,000	25	16,000	400,000
20	全日本シニア選手権大会	50	5,000	250,000	60	5,000	300,000
21	日本スポーツマスターズ	9	4,000	36,000	9	4,000	36,000
22	シニアフェスタ	23	6,000	138,000	21	6,000	126,000
23	全日本小学生選手権	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
24	全国小学生シングルス予選	40	750	30,000	40	750	30,000
25	都道府県全日本中学生	2	20,000	40,000	2	20,000	40,000
26	全国小学生大会	20	2,000	40,000	20	2,000	40,000
27	日本実業団リーグ	3	30,000	90,000	2	30,000	60,000
28	ジュニアジャパンカップ	2	2,000	4,000	2	2,000	4,000
29	親子大会	150	1,500	225,000	140	1,500	210,000
30	関東シングルス大会	6	4,000	24,000			0
31	世界選手権大会予選会	3	4,000	12,000			0
合計				6,501,000			6,658,000

3. 補助金収入（3,601,000 円）の内訳

項 目	31 年度予算		30 年度予算	
	内 容	金 額	内 容	金 額
日本ソフトテニス連盟	中学生選手権大会	30,000 ^円	中学生選手権大会	30,000 ^円
〃	小学生選手権大会	30,000	小学生選手権大会	30,000
〃	地域クラブ育成	345,000	地域クラブ育成	335,000
〃	ジュニア育成	2,140,000	ジュニア育成	2,208,000
〃	ソフトテニス週間	100,000	ソフトテニス週間	100,000
〃	全日本小学生交通費	88,000	全日本小学生交通費	200,000
〃	競技者育成推進	400,000	競技者育成推進	400,000
〃	日本スポーツマスターズ	150,000	日本スポーツマスターズ	150,000
〃	愛好者増加対策	150,000	愛好者増加対策	150,000
〃	指導者研修会交通費	28,000	指導者研修会交通費	31,000
大会実行委員会	全国小学生大会	20,000	全国小学生大会	20,000
〃	都道府県中学生大会	20,000	都道府県中学生大会	20,000
関東ソフトテニス連盟	関東教員選手権大会	0	関東教員選手権大会	30,000
〃	関東中学選手権大会	100,000		0
合 計		3,601,000		3,704,000

支 出

1. 大会参加料（2,779,000 円）の内訳

大 会 名	31 年度予算			30 年度予算		
	参加数	参加料	金額	参加数	参加料	金額
関東オープン大会	31	4,000 ^円	124,000 ^円	31	4,000 ^円	124,000 ^円
関東選手権大会	190	4,000	760,000	180	4,000	720,000
東日本選手権大会	95	4,000	380,000	80	4,000	320,000
実業団選手権大会	4	25,000	100,000	5	25,000	125,000
全日本社会人選手権大会	50	4,000	200,000	50	4,000	200,000
全日本選手権大会	6	4,000	24,000	8	4,000	32,000
関東家庭婦人大会	45	4,000	180,000	55	4,000	220,000
関東実業団リーグ	9	20,000	180,000	9	20,000	180,000
全日本クラブ選手権大会	23	15,000	345,000	25	15,000	375,000
都道府県全日本中学生	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
全日本シングルス大会	4	4,000	16,000	4	4,000	16,000
全日本シニア選手権大会	50	4,000	200,000	60	4,000	240,000
日本スポーツマスターズ	1	60,000	60,000	1	60,000	60,000
全国小学生大会	20	2,000	40,000	20	2,000	40,000
全日本小学生選手権大会	2	10,000	20,000	2	10,000	20,000
日本実業団リーグ	3	30,000	90,000	2	30,000	60,000
ジュニアジャパンカップ	2	2,000	4,000	2	2,000	4,000
関東シングルス大会	6	4,000	24,000			0
世界選手権大会予選	3	4,000	12,000			0
合 計			2,779,000			2,756,000

議案第3号 役員改選

1. 代議員会が選出する役員（敬称略 順序不同）

自 2019年（平成31年）4月1日
至 2021年（平成33年）3月31日

役名	所属団体役名	氏名	所属団体役名	氏名
会長				
副会長	県レディース連盟会長	金 児 忠 枝	藤沢ソフトテニス協会会長	林 良 雄
	県学生連盟会長	笠 井 達 夫	平塚市ソフトテニス協会会長	笠 井 一 栄
	横浜ソフトテニス協会会長	宇津木 智	県央ソフトテニス協会会長	伊 東 和 彦
	川崎市ソフトテニス協会会長	鈴 木 孝 雄	相模原市ソフトテニス協会会長	渡 邊 邦 夫
	横須賀ソフトテニス協会会長	栗 本 頼 一	県高連ソフトテニス部部长	佐 藤 到
	小田原ソフトテニス協会会長	柳 下 良 巳		
監事	横浜ソフトテニス協会		相模原市ソフトテニス協会	

2. 協会及び加盟団体が選出した理事等

役名	所属団体役名	氏名	所属団体役名	氏名
理事	横浜ソフトテニス協会	薄 井 博 一	県央ソフトテニス協会	糸 原 武
	川崎市ソフトテニス協会	日野原 義 久	相模原市ソフトテニス協会	太 田 孝 史
	横須賀ソフトテニス協会	岩 橋 博 雄	県学生ソフトテニス連盟	高 橋 怜 士
	小田原ソフトテニス協会	米 川 和 幸	県高体連ソフトテニス部	岡 田 裕 之
	藤沢ソフトテニス協会	饗 庭 功	県中体連ソフトテニス部	中 村 昇 平
	平塚市ソフトテニス協会	関 野 雄 作	県レディーステニス連盟	鬼 東 二三江

役名	所属団体役名	氏名	所属団体役名	氏名
顧問	県高体連ソフトテニス部元部長	西川喜淹	県連盟元理事	赤坂幸治
	県高体連ソフトテニス部元部長	小泉重義	県連盟元理事	長谷川忠信
	川崎市ソフトテニス協会元会長	引田満男	県連盟元副理事長	瀬戸幹男
	県央ソフトテニス協会元会長	小山巖	県連盟元理事長	野田寛
	県高体連ソフトテニス部元部長	木原勝明	県連盟元副理事長	高橋健治
	県連盟元代議員	青山和男		

3. 会長推薦により選出する役員（理事 若干名）

役名	所属団体役名	氏名	所属団体役名	氏名
会長推薦理事				

4. 理事会が選出する役員

役名	所属団体役名	氏名
理事長		
副理事長		

代議員

所 属 団 体 名	代 議 員 名
横 浜 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	西 村 泰 富 永 理 嗣
川 崎 市 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	清 水 孝 竹 下 久 則
横 須 賀 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	石 上 明 伸 長 澤 孝 雄
小 田 原 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	柳 川 真 寛 勝 亦 仁
藤 沢 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	前 原 邦 生 西 山 千 秋
平 塚 市 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	土 屋 眞 二 柏 木 雅 昭
県 央 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	黄 金 井 哲 也 田 中 昇
相 模 原 市 ソ フ ト テ ニ ス 協 会	秋 山 千 代 子 柳 川 守 造
県 レ デ ィ ー ス ソ フ ト テ ニ ス 連 盟	石 井 順 子 岸 川 廣 子
県 学 生 ソ フ ト テ ニ ス 連 盟	中 村 勇 貴 込 山 隼
県 高 体 連 ソ フ ト テ ニ ス 専 門 部	山 本 敏 雄 荒 木 律 彦
県 中 体 連 ソ フ ト テ ニ ス 部	井 上 春 彦 樋 口 顕 太 郎